



| | |
|--------------|---|
| Title | 阪大法学 74巻 3-4号 和文目次 |
| Author(s) | |
| Citation | 阪大法学. 2024, 74(3-4) |
| Version Type | VoR |
| URL | https://doi.org/10.18910/99465 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

目 次

| | | |
|---|--------------|-----|
| 巻頭の辞 | 武田邦宣 松本和彦 | 1 |
| 古典期ローマ法学における「希望の購入 (emptio spei)」と 「物 (res)」概念 | 林 智良 | 9 |
| 再審における科学的証拠 | | |
| ——名張事件を素材に—— | 水谷規男 | 27 |
| 現代日本の地方自治システムの持続可能性 | 北村 亘 | 49 |
| ドイツ第一波フェミニズムにおける集会・結社の自由と参政権 | | |
| ——女性の政治参加にみるヘートヴィヒ・ドームの「同権」と ヘレーネ・ランゲの「差異」—— | 的場かおり | 75 |
| 比較政治経済学における成長レジーム論の登場 | 上川龍之進 | 105 |
| 平成日本の外交 | | |
| ——変革の30年—— | 高橋慶吉 | 139 |
| 抗告訴訟と当事者訴訟の区別をめぐる第2次世界大戦後の | | |
| ドイツの議論状況 | 長谷川佳彦 | 177 |
| 近代日本の訴願利用 | | |
| ——道府県参事会裁決を対象とする調査の中間報告—— | 小野博司 | 215 |
| 政党助成制度をめぐる研究動向 | | |
| ——政党システムへの作用を中心に—— | 濱本真輔 | 233 |
| 維新政府の樺太政策 1869～1871 | | |
| ——万国対峙の模索と日露関係—— | 醍醐龍馬 | 255 |
| 帝政末期のロシア自由主義における初期スラヴ派の遺産とその継承 | | |
| | 竹中 浩 | 287 |
| 非債弁済 | | |
| ——民法121条の2との関係—— | 平田健治 | 309 |

明治前期における警察官の「法継受」

——警官練習所および巡査教習所を主たる対象として——……………田中亜紀子…337

民法233条と道路管理

——人口減少社会における公物法制と民法との関係を巡る一考察——

……………荒木 修…361

公営住宅における遺品整理の法的課題……………藤島光雄…381

日清戦時財政の法史的考察……………矢切 努…405

台北帝国大学文政学部政学科に関する一考察……………謝 政 徳…429

戦間期日本の国際連盟外交の可能性

——少数民族問題と満洲事変——……………矢 嶋 光…457

公営選挙ポスター掲示場の今後のあり方に関する一考察

——令和6年7月7日執行の東京都知事選挙での事例を

手掛かりとして——……………横井陽介…481

モンゴルの最高裁判所に対する上告事由である

「法学における新しい概念若しくは法令解釈の

統一化において基本的重要性を持つ」という

概念に関する考察

——日本法を比較の素材として——……………バトトルガ ドゥルグーン…507

公共化論における行政組織法的問題の素描……………矢島聖也…527

瀧口 剛教授 略歴・主要著作目録……………549

三阪佳弘教授 略歴・主要著作目録……………555

高橋明男教授 略歴・主要著作目録……………559